

桐生商工会議所管内
景況調査報告書

第146回

(2024年7～9月期)

令和6年11月

桐生商工会議所
桐生中小企業相談所

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。

2. 調査時点 2024年9月1日

3. 調査期間 2024年7～9月期

4. 調査対象企業数380企業（うち回答企業数138企業）

5. 調査対象業種

①建設業（回答企業数20企業）

建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他

②商業・サービス業（回答企業数59企業）

卸売業、小売業、飲食業、サービス業

③製造業

機械金属関連業（回答企業数30企業）

鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他

繊維工業（回答企業数29企業）

燃糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d e x）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。
このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

1. 景況の動き

【業況D I】

今期の業況D Iは、全体で－23。前期（－18）比は－5ポイントとなった。また前年同期（－6）比では－17ポイントとなった。

業種別では、**建設業－5**（前期比＋12、前年同期比－10）、**商業・サービス業－25**（前期比－7、前年同期比－7）、**機械金属製造業－18**（前期比＋12、前年同期比－18）、**繊維製造業－38**（前期比－31、前年同期比－45）となっている。

【採算D I】

今期の採算D Iは全体で－32。前期（－24）比は－8ポイント、前年同期（－12）では－20ポイントとなった。

業種別では、**建設業－32**（前期比－4、前年同期比－11）、**商業・サービス業－38**（前期比－8、前年同期比－15）、**機械金属製造業－4**（前期比＋14、前年同期比－9）、**繊維製造業－46**（前期比－28、前年同期比－49）となっている。

【来期業況D I】

来期の業況予測D Iは全体で－25。前期（－14）比では－11ポイント、前年同期（－11）比では－14ポイントとなった。

業種別では**建設業－29**（前期比－18、前年同期比－29）、**商業・サービス業－27**（前期比－9、前年同期比－9）、**機械金属製造業－14**（前期比±0、前年同期比－4）、**繊維製造業－28**（前期比－20、前年同期比－28）となっている。

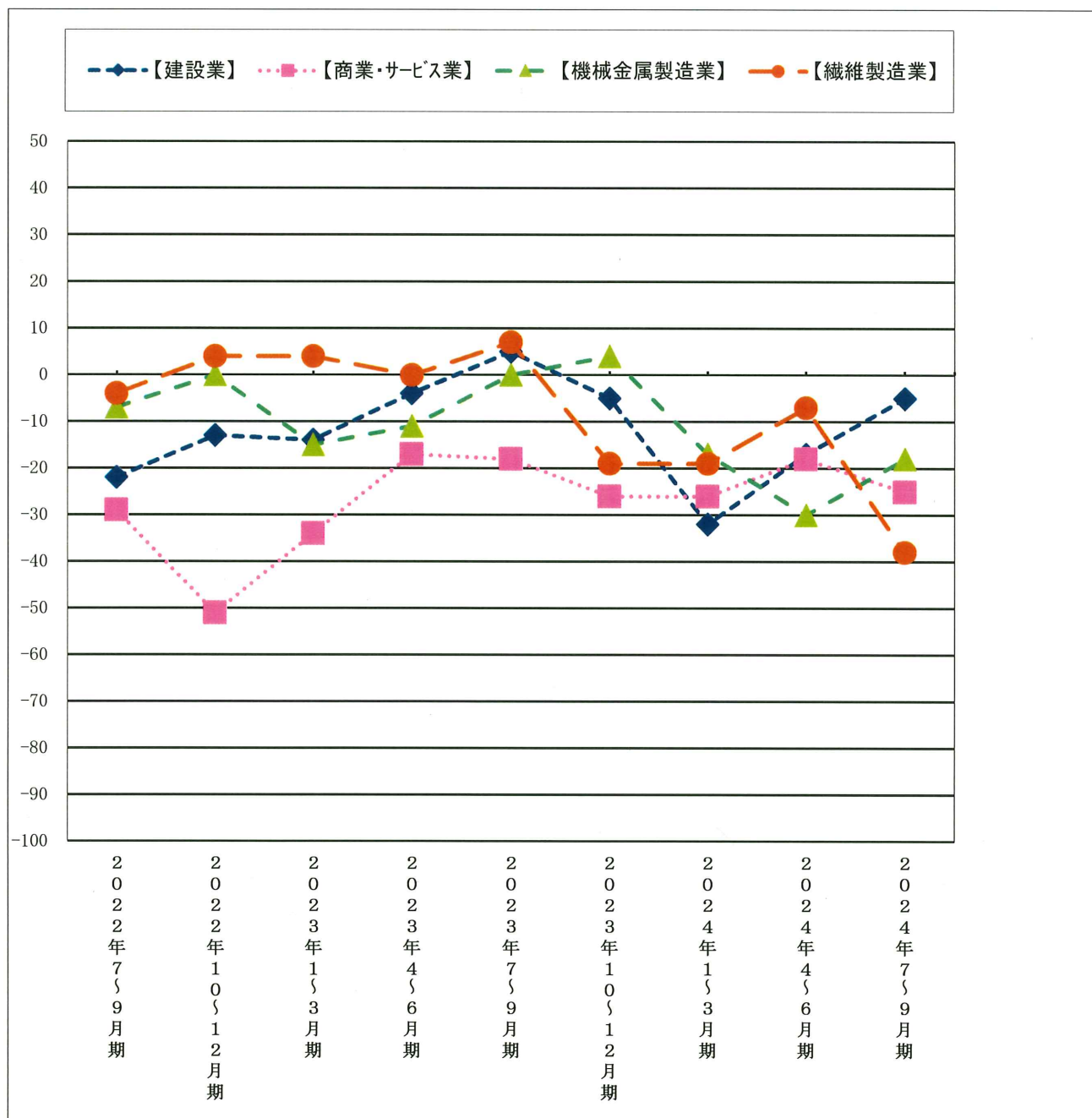
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「材料価格の上昇」（23.5%）「従業員の確保難」（13.7%）、**商業・サービス業**では「材料等仕入単価の上昇」（14.7%）「人件費の増加」（14.0%）、**機械金属製造業**では「原材料価格の上昇」（18.1%）「従業員の確保難」（18.1%）、**繊維製造業**では「原材料価格の上昇」（21.0%）「需要の停滞」（16.0%）が上位となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2022年7～9月期	-22	-29	-7	-4
2022年10～12月期	-13	-51	0	4
2023年1～3月期	-14	-34	-15	4
2023年4～6月期	-4	-17	-11	0
2023年7～9月期	5	-18	0	7
2023年10～12月期	-5	-26	4	-19
2024年1～3月期	-32	-26	-17	-19
2024年4～6月期	-17	-18	-30	-7
2024年7～9月期	-5	-25	-18	-38

[2022年7～9月期] から [2024年7～9月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

●今期業況

今期の業況DIは－5。前期比は＋12、前年同期比では－10ポイントとなった。

業種別では建築・大工業〔－14〕、土木業〔＋25〕、管工事業〔±0〕、鉄骨・鉄筋業〔±0〕、電気工事業〔－100〕、その他〔＋50〕ポイントとなった。

●来期業況

来期業況予測のDIは－29。前期比－18、前年同期比では－29ポイントとなっている。

【商業・サービス業】

●今期業況

今期の業況DIは－25。前期比は－7、前年同期比では－7ポイントとなった。

業種別では、卸売業〔±0〕、小売業〔－56〕、飲食業〔±0〕、サービス業では〔±0〕ポイントとなった。

●来期業況

来期業況予測のDIは－27。前期比－9、前年同期比では－9ポイントとなっている。

【機械金属製造業】

●今期業況

今期の業況DIは－18。前期比では＋12、前年同期比では－18ポイントとなった。

業種別では、鉄鋼業〔±0〕、非鉄金属業〔±0〕、金属製品業〔±0〕、一般機械器具業〔－100〕、電気機械器具業〔±0〕、輸送用機械器具業〔－17〕、精密機械器具業〔±0〕、プラスチック製造業〔±0〕、その他〔－100〕ポイントとなった。

●来期業況

来期業況予測のDIは－14。前期比±0、前年同期比－4ポイントとなっている。

【繊維製造業】

●今期業況

今期の業況DIは－38。前期比では－31、前年同期比では－45ポイントとなった。

業種別では、捻糸業〔－100〕、織物業〔－30〕、染色整理業〔－40〕、ニット・メリヤス業〔－100〕、レース業〔±0〕、縫製業〔－100〕、刺繍業〔±0〕、その他〔－100〕ポイントとなった。

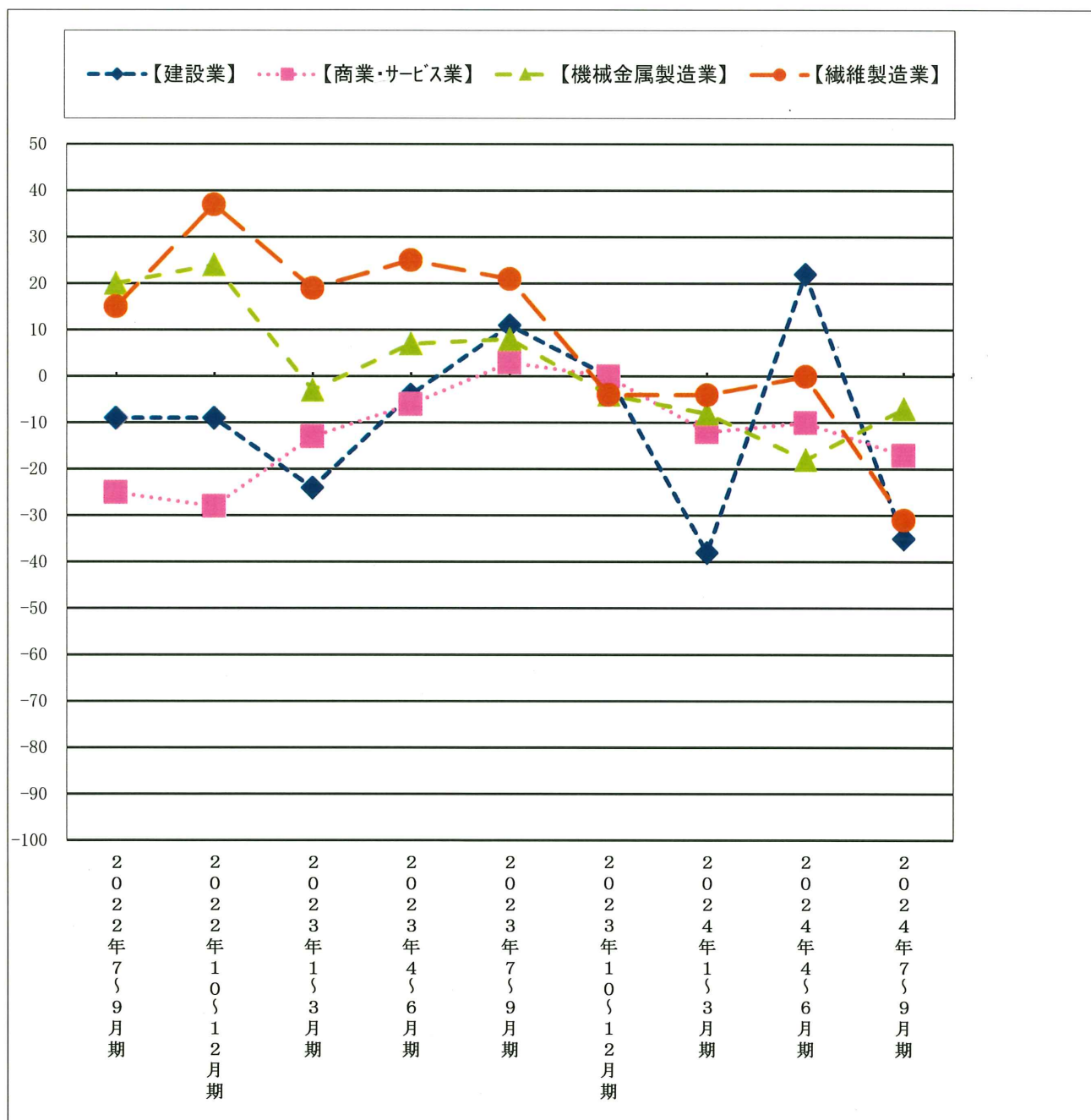
●来期業況

来期業況予測のDIは－28。前期比－20、前年同期比では－28ポイントとなっている。

売上額（完成工事額）DIの推移

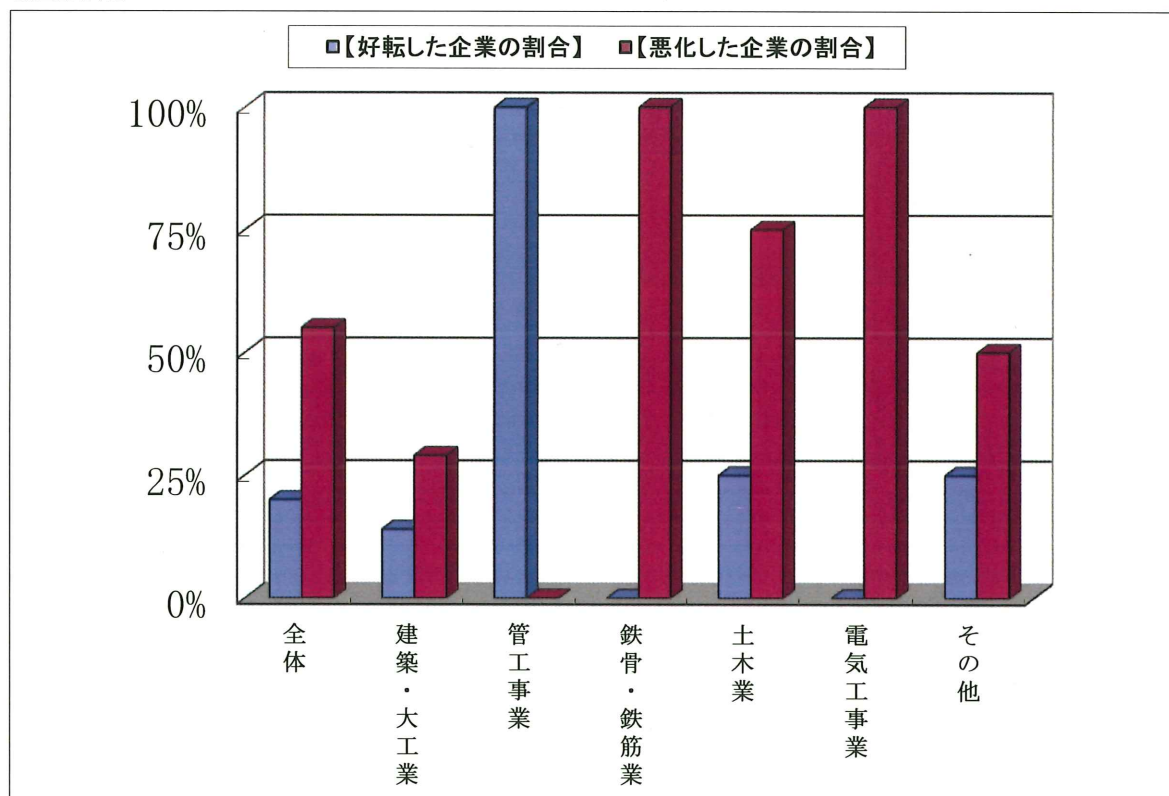
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2022年7～9月期	-9	-25	20	15
2022年10～12月期	-9	-28	24	37
2023年1～3月期	-24	-13	-3	19
2023年4～6月期	-4	-6	7	25
2023年7～9月期	11	3	8	21
2023年10～12月期	0	0	-4	-4
2024年1～3月期	-38	-12	-8	-4
2024年4～6月期	22	-10	-18	0
2024年7～9月期	-35	-17	-7	-31

〔2022年7～9月期〕から〔2024年7～9月期〕

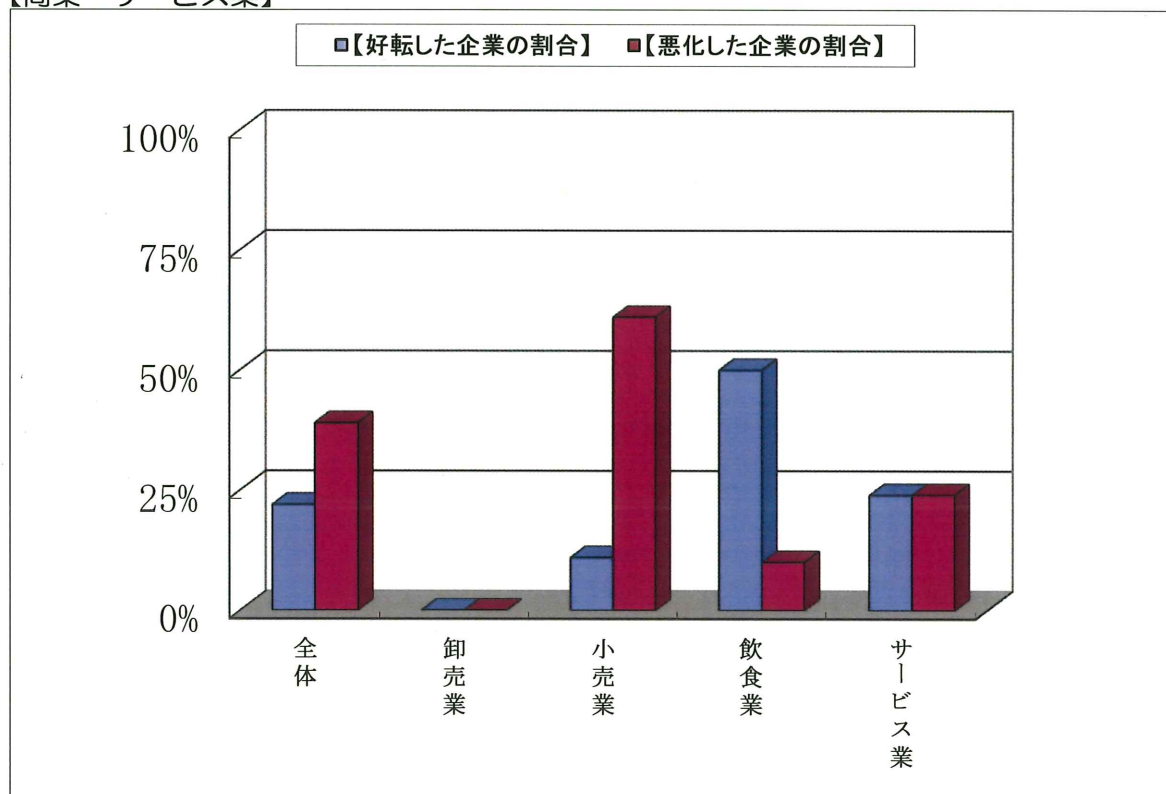


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

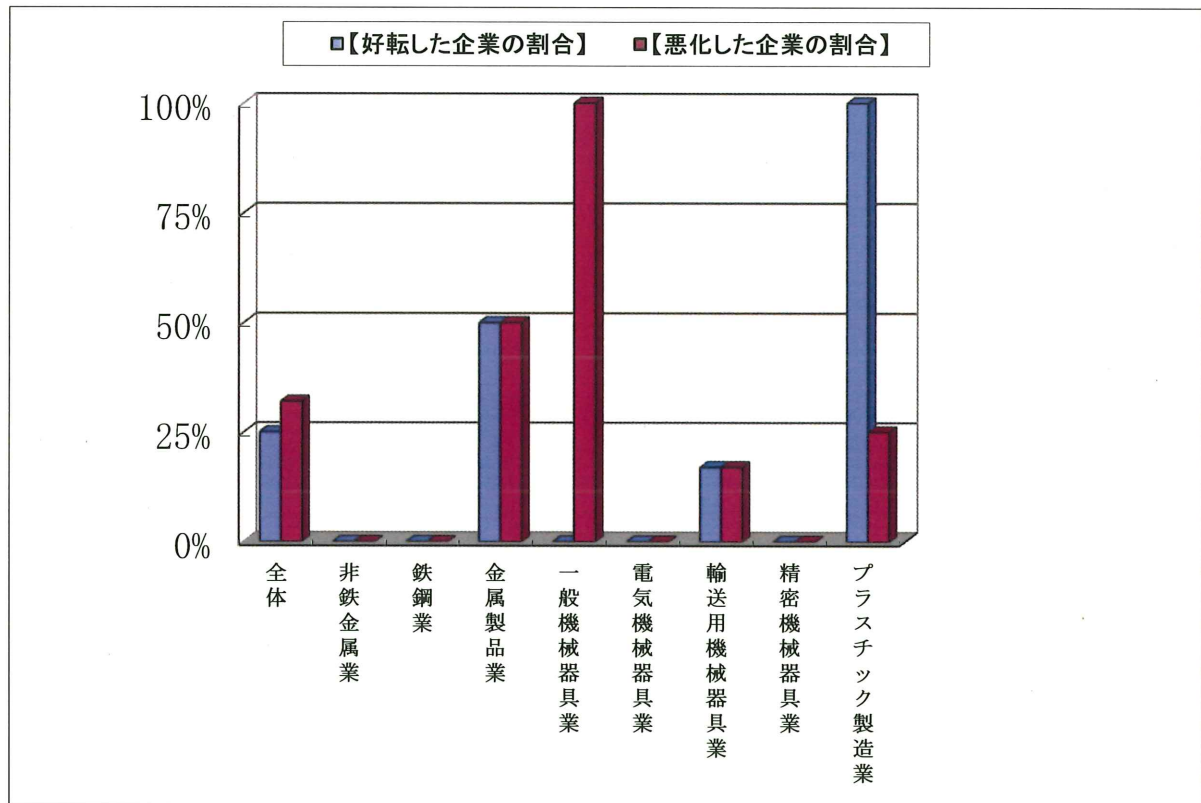
【建設業】



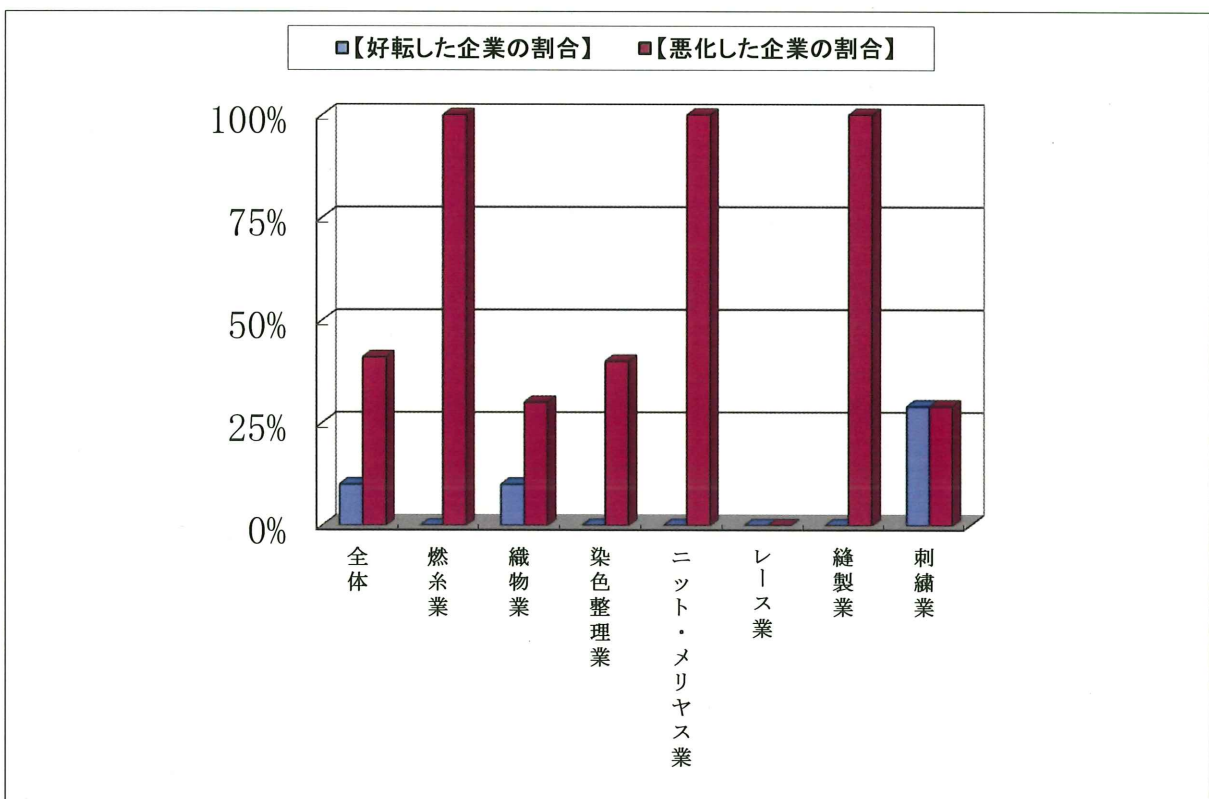
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



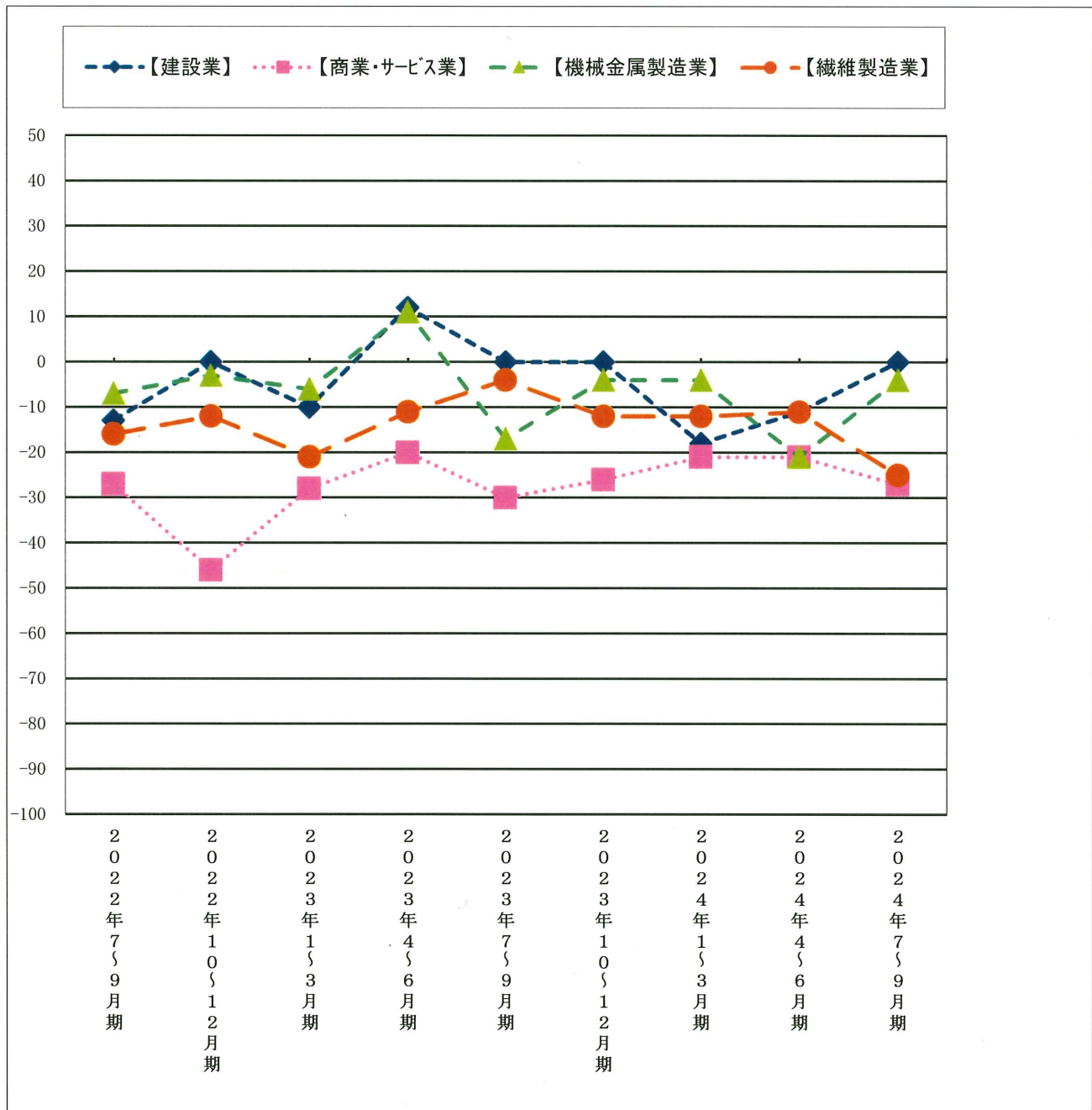
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2022年7～9月期	-13	-27	-7	-16
2022年10～12月期	0	-46	-3	-12
2023年1～3月期	-10	-28	-6	-21
2023年4～6月期	12	-20	11	-11
2023年7～9月期	0	-30	-17	-4
2023年10～12月期	0	-26	-4	-12
2024年1～3月期	-18	-21	-4	-12
2024年4～6月期	-11	-21	-21	-11
2024年7～9月期	0	-27	-4	-25

[2022年7～9月期] から [2024年7～9月期]



今期直面している経営上の問題点

	1位(%)		2位(%)		3位(%)		4位(%)		5位(%)	
建設業	材料価格の上昇		従業員の確保難		民間需要の停滞		熟練技術者の確保難		下請単価の上昇	
	23.5		13.7		13.7		13.7		9.8	
前期	1位	24.5	2位	18.4	3位	14.3	6位	4.1	5位	6.1
前年同期	1位	23.4	4位	10.6	3位	12.8	2位	14.9	5位	8.5
商業・サービス業	材料等仕入単価の上昇		人件費の増加		需要の停滞		消費者ニーズの変化への対応		人件費以外の経費の増加	
	14.7		14.0		10.7		10.0		9.3	
前期	1位	16.8	4位	10.0	5位	9.4	3位	11.3	7位	6.3
前年同期	1位	14.9	4位	10.1	2位	11.3	4位	10.1	2位	11.3
機械金属製造業	原材料価格の上昇		従業員の確保難		需要の停滞		製品単価の低下・上昇難		人件費の増加	
	18.1		18.1		14.5		12.0		10.8	
前期	1位	18.8	2位	13.8	2位	13.8	2位	13.8	5位	12.5
前年同期	3位	9.0	1位	19.2	2位	15.4	7位	7.7	3位	9.0
繊維工業製造業	原材料価格の上昇		需要の停滞		生産設備の不足・老朽化		製品ニーズの変化への対応		製品単価の低下・上昇難	
	21.0		16.0		9.9		9.9		8.6	
前期	1位	24.0	2位	12.0	4位	9.3	6位	8.0	4位	9.3
前年同期	1位	18.7	2位	14.7	3位	9.3	3位	9.3	3位	9.3

事業所からのコメント（直面している問題点など）

〔建設業〕

- ・ 人不足、次世代人員の確保難、資材高騰。業界の行末に大きな懸念あり
- ・ コロナ以来（3～3.5年）、材料関係価格の上昇や協力会社（下請単価）もこぞって価格の大幅上昇。1.6倍位の坪単価により、住宅ローン等がうまくいかず、家を作りたくても作れない価格となってしまっている。
- ・ 週休2日制に伴う生産性の減少、材料費の急上昇、官民工事の減少
- ・ 市況が良くないので、不動産物件の売買が停滞気味である

〔商業・サービス業〕

- ・ 仕入れ単価が上昇して厳しい状況は続いている
- ・ 高齢化。人手不足。仕事で桐生にくる人が少ない
- ・ 仕入の金額が大きく増加
- ・ 需要はあるが商品の生産が追いつかないのが現状
- ・ 建物の老朽化と人口減少
- ・ 仕入商品の上昇に、販売価格が追いついて行かない
- ・ 桐生に於ける人口減少に歯止めがかからず又、葬儀社等の件数に変化が見られず、難しい状況下での営業展開であり、売上確保に苦慮している
- ・ 資材費高騰プラス人件費の急激な上昇により、売上増加でも利益率が低下
- ・ 営業力の弱さを実感しているが、人件費削減に手をつけたばかりで営業社員を増やすことが難しい

〔機械金属関連業〕

- ・ 原材料等を含む値上に対し、客先への価格転嫁が進まず苦戦（実績約55%）
- ・ 大手企業が価格改訂の協議を始めています。満額回答は得られませんが30年振りの値上げで少しだけ好転
- ・ 2024年7月までは円安により売上高が良化したように見えているが、実際の数量は想定よりも低迷している。8月より円高傾向となり、その傾向は顕著に現れると思われる。特に中国の売上（数量）減。結果として、業績予想に対する達成度を懸念している
- ・ 2025年度の新卒確保難

〔繊維工業〕

- ・ 原材料が手に入ってこなくなり、加えて分業に依る生産工程で高齢になった熟練技術者がいなくなり物が出来ない。買い控え需要で状況は厳しい。売る事に力を入れるしかない
- ・ 人員を確保できたのに例年の流れが変わってしまい、今一番人員が多いのに仕事が少ない
- ・ 経営者の行動力不足
- ・ 刺繍資材の相次ぐ値上げ